

2006年3月7日
KDDI株式会社
日立ソフトウェアエンジニアリング株式会社

KDDIと日立ソフトがセキュリティソリューションの提供で協業

～「KDDI セキュアシェア」と「秘文」の連携ソリューションにより

End to Endで安全なファイル交換を実現～

KDDI株式会社(本社:東京都千代田区 代表取締役社長兼会長:小野寺 正 以下、KDDI)と日立ソフトウェアエンジニアリング株式会社(本社:東京都品川区、代表執行役 執行役社長:小川健夫 以下、日立ソフト)は協業し、KDDIの情報交換サービス「KDDI セキュアシェア」と日立ソフトの情報漏洩対策ソリューション「秘文」の連携により、ファイルの作成時から受け渡しまで暗号化によって情報を保護するセキュリティソリューションの提供を本日より開始します。

「KDDI セキュアシェア」は、機密情報を含むファイルをKDDIの構築したセキュリティプラットフォームを介して安全に社内外の関係者と交換・共有できるサービスです。インターネット環境さえあればどこでも利用できるユビキタス環境を確保しつつ、アクセスできる相手をファイルやフォルダごとに指定できるほか、インターネット上だけではなくセキュアシェアサーバ上でもファイルを暗号化することで、高度なセキュリティレベルを実現しています。

また、「秘文」はクライアントPC、メディアの暗号化や情報の持ち出し制御といった情報漏洩に対するセキュリティ対策からセキュリティ対策状況の監視、操作ログの取得などトータルセキュリティマネジメントを実現するソフトウェアです。「秘文」は2005年12月末時点で、2,400社200万ライセンスの販売実績があり、暗号化・DRM分野(市場占有率47.11%)、持ち出し制御分野(市場占有率39.7%)でトップシェア^(注)を誇っております。

今回、ネットワーク及びサーバ上のセキュリティを実現する「セキュアシェア」と送信者側PC及び受信者側PCのセキュリティを実現する「秘文」とを連携することで、ファイルの作成更新を行う送信者側PCからファイルを交換・共有するネットワーク及びサーバ上、さらにファイルの受取りを行う受信者側PCに至るまですべて暗号化されたセキュアな環境を構築できます。

また、指定したメンバーのみしかファイルにアクセスできないため、個人情報を取り扱う営業部門や機密情報を取り扱う商品開発部門をはじめ、企業間プロジェクトに携わる企画部門などにおいて最適なソリューションとしてご利用いただけます。

KDDIと日立ソフトはこのたびの協業においてお互いのサービスの連携に加え、今回の発表を契機に今後も深耕を図り、お客様に安全で利便性の高いセキュリティソリューションを積極的に展開します。

詳細は別紙をご参照ください。

(注)株式会社 富士キメラ総研 2005年3月31日発行「2005パッケージソリューション・マーケティング便覧」
(2005年1月～3月調査)より。

以上

[本件に関する報道機関からのお問い合わせ先]

KDDI株式会社 広報部 担当:中村 TEL(03)6678-0690

日立ソフトウェアエンジニアリング株式会社 社長室(広報) 担当:竹橋、高野 TEL(03)5780-6450

<別紙>

サービスイメージ図



「KDDI セキュアシェア」の特長

インターネット環境さえあればどこでも利用できるユビキタス環境を確保しつつ、アクセスできる相手をファイルやフォルダごとに指定できるほか、インターネット上だけではなくセキュアシェアサーバ上でもファイルを暗号化することで、高度なセキュリティレベルを実現しています。

- 送信元の端末から、相手先の端末に届くまでのEnd - to - Endを暗号化
- ファイル共有相手にもIDやパスワードをメールなどで通知不要
- どこでも安全にサーバへアクセスできるユビキタス環境を実現
- 24時間365日のお客さまサポート体制
- 万が一の故障発生時に備えシステムを完全に冗長化

「秘文」の特長

秘文は、暗号化・持ち出し制御などのセキュリティ対策を実施し、情報漏洩を防止する「秘文AEシリーズ」。セキュリティシステムの運用・管理、監査を実現する「秘文MEシリーズ」。この2つのシリーズでISMSの認証基準に対応したPDCAサイクルの確立とトータルマネジメントを実現致します。クライアントPCのドライブやメディアの暗号化を行う製品は「秘文AE Information Cypher」になります。

提供開始日

2006年3月7日(火)

サービスに関するお問い合わせ先

KDDI セキュリティサービス問い合わせ窓口

e-mail: kddi-security@kddi.com

以上